

《原著》

胸水中の CA125 測定は、月経随伴性気胸の診断に有用か

谷田信行, 行重佐和香, 宇都宮正人, 西岡康平, 植田康司, 松岡永,
甫喜本憲弘, 山井礼道, 近森文夫, 大西一久, 浜口伸正

要旨：目的：月経随伴性気胸は、異所性子宮内膜症の一部と考えられており、胸水あるいは胸腔洗浄液中の CA125 測定が診断に有用との報告がある。胸水中 CA125 は胸膜炎などでも上昇するとされるが、原発性自然気胸での報告例はほとんどない。

方法：2016年3月から6月に経験した自然気胸9例（男性8例、女性1例は月経随伴性気胸）の胸水中 CA125 を測定し、比較検討した。

結果：男性8例、女性1例。平均年齢41歳（15-71）。原発性5例、続発性4例（月経随伴性気胸1例を含む）。手術は5例に行った。胸水中 CA125 は、男性気胸で平均 1352U/ml（368-3589）、月経随伴性気胸で 3333U/ml であった。

結論：胸水中の CA125 測定は、月経随伴性気胸の診断に有用でない。

キーワード：月経随伴性気胸、胸水、CA125

はじめに

CA125 は、ヒト卵巣漿液性嚢胞腺癌由来の細胞株を免疫源とするマウスモノクローナル抗体 OC125 により認識される抗原で、卵巣癌の腫瘍マーカーとして使用されている¹⁾。

子宮内膜症でも高値を呈することが多く、補助診断として用いられる。続発性自然気胸に分類される月経随伴性気胸は、異所性子宮内膜症が原因と考えられ、血清 CA125 は正常であることが多いが、胸水中 CA125 は高値を示す^{2) 3) 4)}。

我々は、手術を行なった18歳女性の原発性自然気胸症例で、胸水中 CA125 が 1840 U/ml（血清 30.8 U/ml）と異常高値を示したために月経随伴性気胸との鑑別に苦慮した経験から、性別に関係なく、自然気胸の胸水中 CA125 を測定した。

対象と方法

2016年3月から6月に連続して経験した原発性および続発性自然気胸

9例（男性8例、女性1例は月経随伴性気胸）を対象とした。胸水は、術中または胸腔ドレーンの排液から採取した。

胸水中 CA125 の測定は、化学発光免疫測定法で行ない、男性気胸と月経随伴性自然気胸を比較検討した。

結果

男性8例、女性1例で、平均年齢は41歳（15-71）であった。男性の原発性自然気胸は5例、続発性自然気胸は3例で、女性は月経随伴性気胸であった。手術は5例に行った（表）。

表

	性別	年齢	気胸分類	胸水中CA125 (U/ml)	手術有無
1	女	42	月経随伴性	3332.9	有
2	男	19	原発性	1475.9	有
3	男	39	原発性	2032.1	無
4	男	22	原発性	1117.7	有
5	男	15	原発性	481.1	無
6	男	71	続発性	950.2	無
7	男	66	続発性	804.9	無
8	男	68	続発性	368.4	有
9	男	24	原発性	3589.2	有

胸水中 CA125 は、男性気胸で平均 1352 U/ml (368-3589), 月経随伴性気胸で 3333 U/ml であった。

考察

1958年 Maurer らによって報告された月経随伴性気胸は、月経に伴って気胸を発症する比較的まれな疾患である⁵⁾。異所性子宮内膜症の一部と考えられており、確立された治療方針はない⁶⁾。

月経随伴性気胸では、胸水中 CA125 は高値を示すとされ^{2) 3) 4)}、以前に我々も報告した⁷⁾。また、胸水中 CA125 の高値がその補助診断として有用であるとの報告も行われている^{2) 3) 4)}。

CA125 は子宮内膜以外に、腹膜、胸膜、心膜等にも発現が認められており¹⁾、胸水中 CA125 は、良性あるいは悪性胸膜炎等の疾患でも高値を示すとされる⁸⁾。

樋口らは、閉経前女性の原発性自然気胸における胸水中 CA125 が高値であると報告し、月経随伴性気胸の補助診断としての意義は小さいと指摘している⁹⁾。

今回の検討では、男性の自然気胸でも胸水中 CA125 の異常高値が認められた。その測定値に月経随伴性気胸との明らかな差はなかった。

結語

胸水中の CA125 測定は、月経随伴性気胸の補助診断として有用でない。

endometriosis of the diaphragm. JAMA 168 : 2013-2914, 1958.

6) 小林優子, 武内裕之, 宮元秀昭: 月経随伴性気胸の病態と治療. 産科と婦人科 75 : 13-19, 2008.

7) 木下 肇ほか: 胸膜と横隔膜に異所性子宮内膜組織が確認された月経随伴性気胸の 5 例. 高知赤十字病院医学雑誌 16 : 1-6, 2011.

8) 光武良幸ほか: 各種胸膜炎における胸水中 CA125 値の意義. 癌の臨床 32 : 453-457, 1986.

9) 樋口光徳ほか: 閉経前女性気胸に対する手術例の臨床的特徴. 日呼外会誌 28 : 854-859, 2014.

1) Kabawat SE, et al.: Tissue distribution of a coelomic-epithelium-related antigen recognized by the monoclonal antibody OC125. Int J Gynecol Pathol 2 : 275-285, 1983.

2) 谷村繁雄ほか: 月経随伴性気胸に対し手術は必要か?. 日胸 57 : 979-984, 1998.

3) 内藤龍雄ほか: 胸水中 CA125 が高値を示した月経随伴性気胸の 1 例. 日胸 54 : 1016-1019, 1995.

4) 上林孝豊ほか: 胸腔洗浄液中 CA125 値が高値を示した月経随伴性気胸の 1 例. 日胸臨 72 : 1275-1279, 2013.

5) Maurer ER, Schaal JA, Mendez FL Jr: Chronic recurring spontaneous pneumothorax due to